

# 兵庫県市川町 地域経済動向分析

令和7年度 市川町商工会

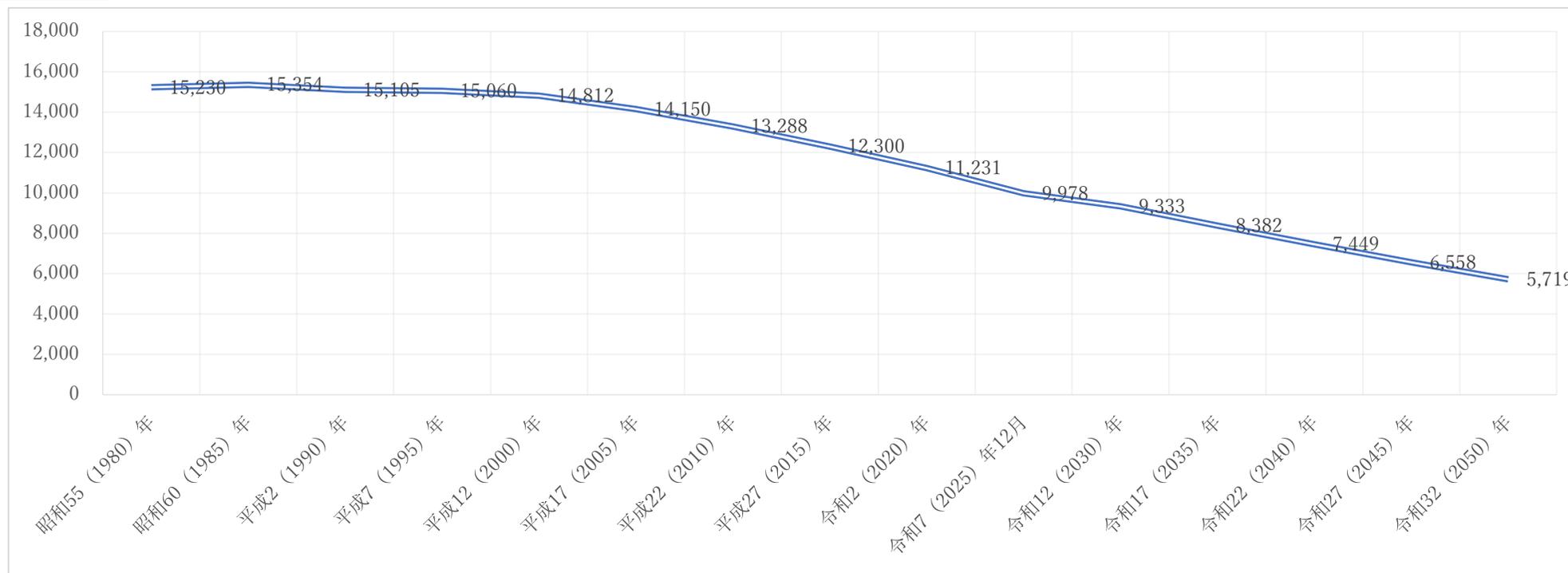
## はじめに

市川町において真に稼げる産業や事業者に対し、限られたマンパワー政策資源を集中投資し、効率的な経済活性化を目指すため、経営指導員等が「RESAS」（地域経済分析システム）を活用した地域の経済動向分析を行いました。

具体的には、地域経済循環マップ・生産分析において、何で稼いでいるか等进行分析、まちづくりマップ・From to 分析において人の動き等进行分析、産業構造マップにおいて、産業の現状等进行分析するなど様々な分析を総合的に活用し、市川町の地域経済動向分析を行い、事業計画策定支援等に反映していきます。

# 1. 人口

## 人口の推移



※令和7年1月以降はRASASの予測による人口を掲載した。＜資料：RESASより＞

### 人口動向と将来人口ビジョン

現状として、市川町の人口は、昭和60年の15,354人をピークに減少が続いており、令和7(2025)年12月現在では、10,000人を割り込み9,978人となる。令和32(2050)年には、人口が5,719人と予測されている。若年層の流出と高齢化の進行により、生産年齢人口の減少が地域経済の持続性に深刻な影響を与えている。

そのため、生産年齢人口の確保が地域経済維持の絶対条件であり、若年層・子育て世代の定住促進と、それを支える就業機会の創出が急務である。

## 2. 地域経済循環と付加価値創出戦略

<資料：RESAS より>

### 地域経済循環分析

2022年

指定地域:兵庫県市川町

地域経済循環率

72.0%

所得への分配

370

分配（所得）

地域外からの流入

(億円)



詳細を見る

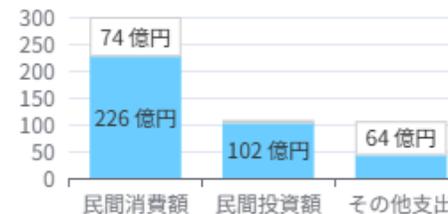
所得からの支出

513

支出

地域外への流出

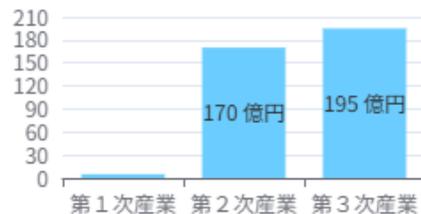
(億円)



詳細を見る

生産（付加価値額）

(億円)



詳細を見る

支出による  
生産への還流

370

### 付加価値額（一人当たり）

2022年  
指定地域:兵庫県市川町

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	246万円	877万円	1,003万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	859位	903位	153位

### 所得（一人当たり）

2022年  
指定地域:兵庫県市川町

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	279万円	201万円
所得 (一人当たり) 順位	220位	1,152位

### 支出流出入率

2022年  
指定地域:兵庫県市川町

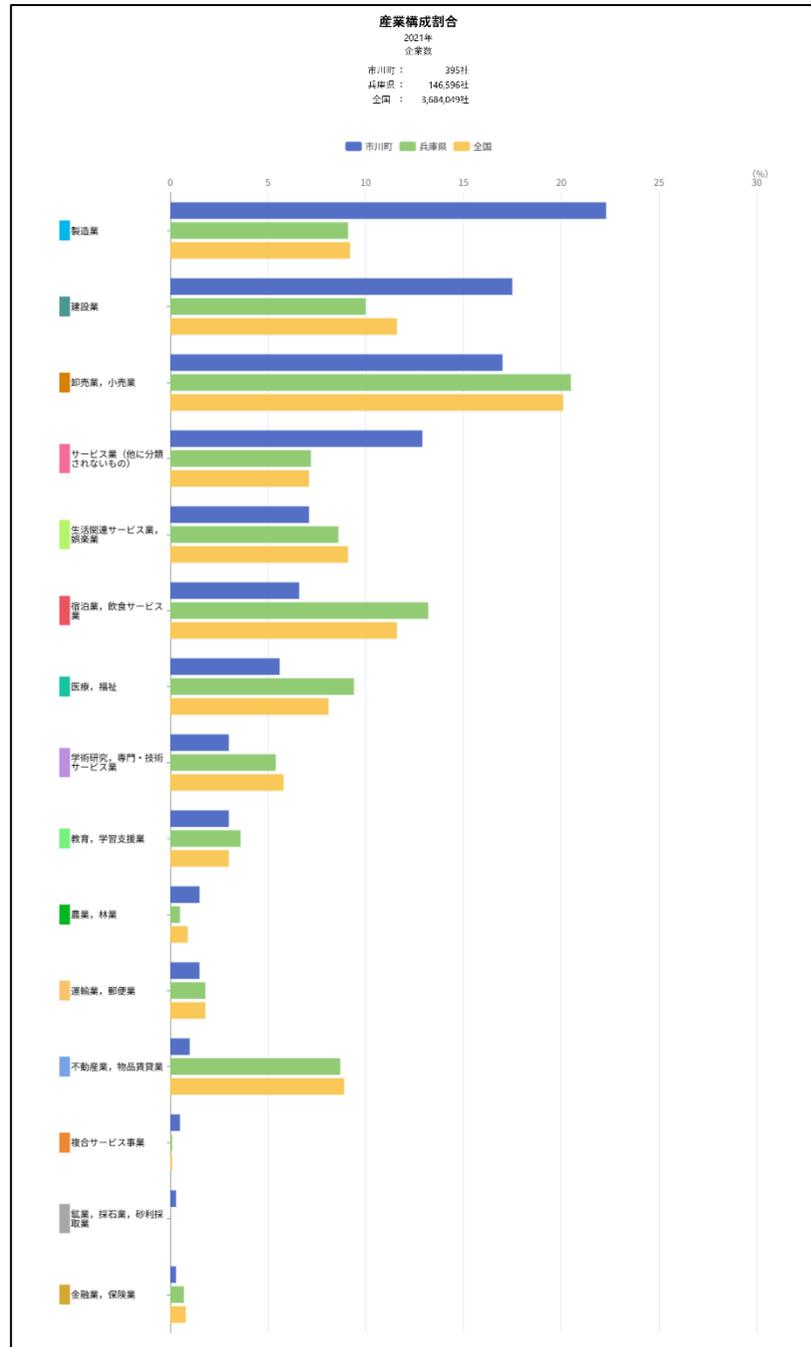
	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	-24.7%	-5.3%	-60.4%
支出流出入率 順位	1,513位	551位	783位

現状として、市川町の地域経済循環率は72.0%であり、一定の域内循環は確保されている。しかし、雇用者所得の域外流出や、民間消費支出の域外流出が課題となっている。そのため、日常生活品等の購買が、隣接する福崎町や神河町に集中している現状がある。

ゴルフアイアンヘッド製造等の「稼げる産業（外需）」の競争力を強化するとともに、地元消費を促進する施策等を組み合わせる必要がある。所得を地域内で回す「支出による生産への還流」の強化が成長の鍵となる。

### 3. 産業

## 産業構造と重点産業育成方針



兵庫県市川町

- 製造業  
88社(22.3%)
- 建設業  
69社(17.5%)
- 卸売業, 小売業  
67社(17.0%)
- サービス業 (他に分類されないもの)  
51社(12.9%)
- 生活関連サービス業, 娯楽業  
28社(7.1%)
- 宿泊業, 飲食サービス業  
26社(6.6%)
- 医療, 福祉  
22社(5.6%)
- 学術研究, 専門・技術サービス業  
12社(3.0%)
- 教育, 学習支援業  
12社(3.0%)
- 農業, 林業  
6社(1.5%)
- 運輸業, 郵便業  
6社(1.5%)
- 不動産業, 物品賃貸業  
4社(1.0%)
- 複合サービス事業  
2社(0.5%)
- 鉱業, 採石業, 砂利採取業  
1社(0.3%)
- 金融業, 保険業  
1社(0.3%)

## 町 内 総 生 産

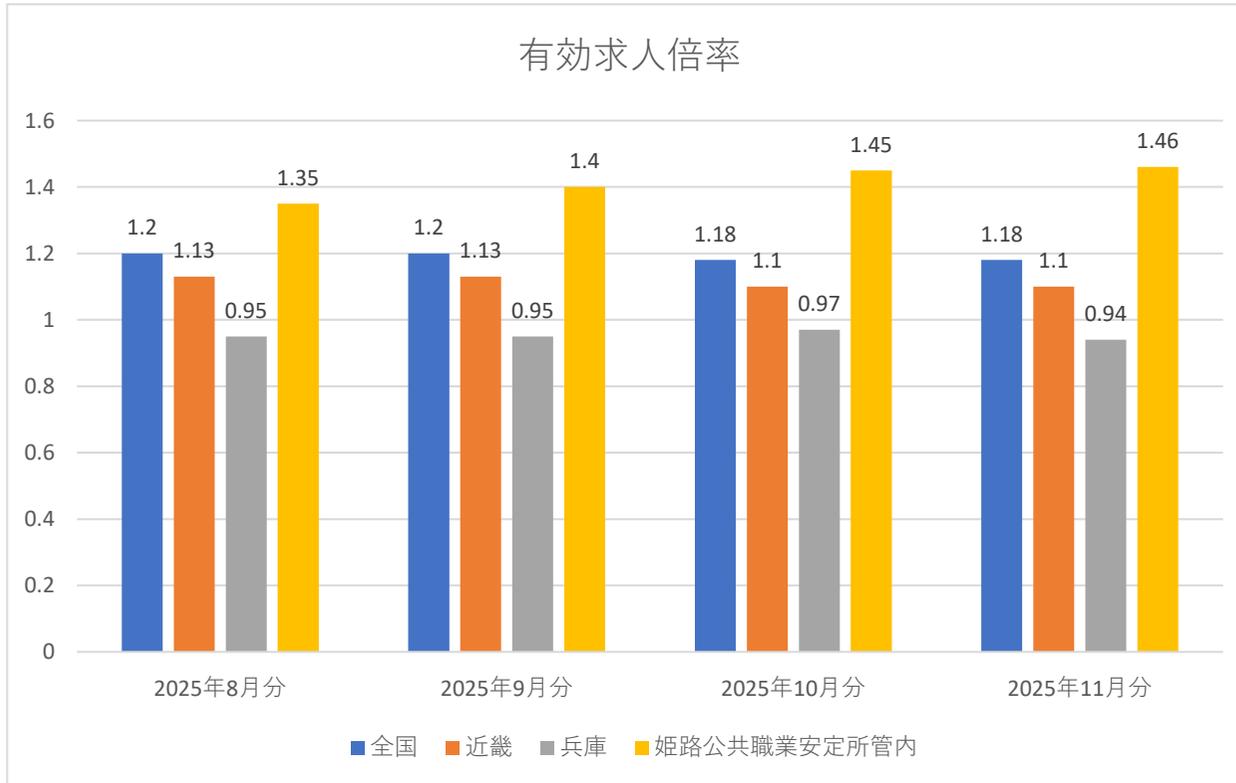
区分	町内総生産 (総計)	第1次産 業総生産	第2次産業 総生産	第3次産業 総生産	輸入品に課せら れる税・関税等	就業者1人あたり町内総 生産
単位	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	千円
2021年	40,877	463	20,144	19,739	531	8,390

<資料：兵庫県勢要覧 2025 より>

現状として、製造業を中心とした第2次産業が地域経済の中核を担っており、ゴルフクラブ製造の地場産業を有している。一方で建設業、製造業ともに人手不足が深刻な問題となっている。

経営者の高齢化、後継者不足、公共工事等による事業の縮小が懸念されている。既存製造業の高度化（DX導入等）を支援することが重要であり、農業の6次産業化や観光との連携による新たな付加価値創出を支援し、産業の多様化を図る。

# 労働分析



有効求人倍率（全国・兵庫）については、季節調整値。

市川町求人件数（姫路公共職業安定所）

一般（フル）	一般（パート）
66件	37件

2026/1/9現在

<資料：姫路公共職業安定所 「姫路公共職業安定所管内における雇用情勢」>

姫路公共職業安定所管内（市川町を含む）の有効求人倍率は全国・兵庫県に比べて高く求職者よりも求人数（労働者を求めている企業数）のほうが多い。市川町においては、介護職や建設業、製造業などの人手不足が進んでいる。

## 4. 人流（From-to）と交流人口拡大

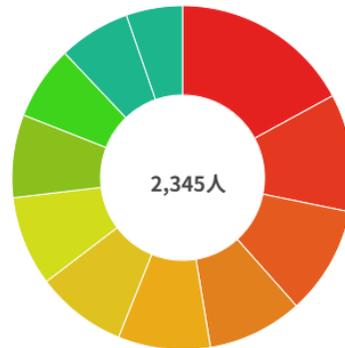
From-to 分析では、市川町が周辺自治体と広域的な生活・経済圏を形成していることが確認される。通勤・通学者や来訪者を地域内消費へと結びつけることで、交流人口・関係人口の拡大が期待される。

<資料：RESAS より>

流入者数・流出者数の年齢階級別構成割合

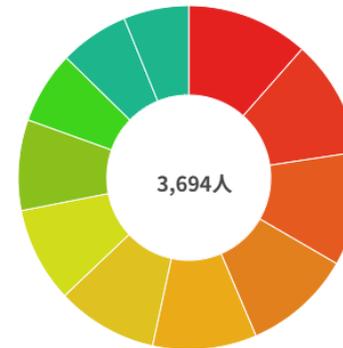
2020年 兵庫県 市川町  
通勤者・通学者で見ると  
総数  
流入者数：2,345人  
流出者数：3,694人  
(流出超過数：1,349人)

流入者数



- 1位 15～19歳 401人 (17.10%)
- 2位 45～49歳 260人 (11.09%)
- 3位 40～44歳 239人 (10.19%)
- 4位 50～54歳 211人 (9.00%)
- 5位 35～39歳 205人 (8.74%)
- 6位 65歳以上 201人 (8.57%)
- 7位 55～59歳 198人 (8.44%)
- 8位 60～64歳 183人 (7.80%)
- 9位 30～34歳 163人 (6.95%)
- 10位 25～29歳 159人 (6.78%)
- その他 125人 (5.33%)

流出者数



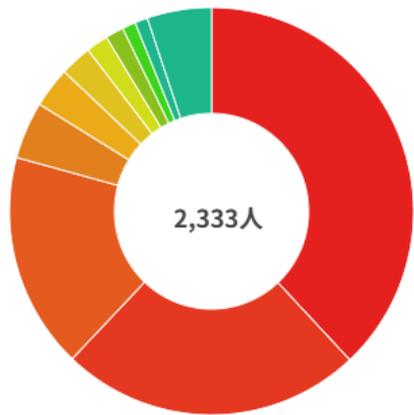
- 1位 45～49歳 427人 (11.56%)
- 2位 55～59歳 408人 (11.04%)
- 3位 60～64歳 396人 (10.72%)
- 4位 50～54歳 378人 (10.23%)
- 5位 65歳以上 364人 (9.85%)
- 6位 40～44歳 353人 (9.56%)
- 7位 15～19歳 331人 (8.96%)
- 8位 35～39歳 315人 (8.53%)
- 9位 30～34歳 252人 (6.82%)
- 10位 20～24歳 242人 (6.55%)
- その他 228人 (6.17%)

<資料：RESAS より>

流入者数・流出者数の地域別構成割合

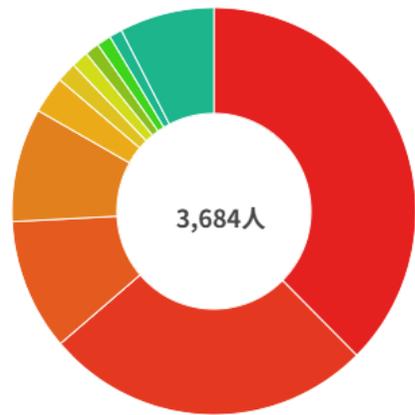
2020年 兵庫県 市川町  
通勤者・通学者で見ると  
流入者数：2,333人  
流出者数：3,684人  
(流出超過数：1,351人)

域内への流入者数



- 1位 兵庫県姫路市 887人 (38.02%)
- 2位 兵庫県福崎町 562人 (24.09%)
- 3位 兵庫県神河町 400人 (17.15%)
- 4位 兵庫県加西市 106人 (4.54%)
- 5位 兵庫県朝来市 75人 (3.21%)
- 6位 兵庫県加古川市 59人 (2.53%)
- 7位 兵庫県高砂市 41人 (1.76%)
- 8位 兵庫県穴栗市 34人 (1.46%)
- 9位 兵庫県多可町 25人 (1.07%)
- 10位 兵庫県たつの市 24人 (1.03%)
- その他 120人 (5.14%)

域外への流出者数



- 1位 兵庫県姫路市 1,382人 (37.51%)
- 2位 兵庫県福崎町 966人 (26.22%)
- 3位 兵庫県加西市 385人 (10.45%)
- 4位 兵庫県神河町 333人 (9.04%)
- 5位 兵庫県神戸市 109人 (2.96%)
- 6位 兵庫県朝来市 58人 (1.57%)
- 7位 兵庫県加古川市 50人 (1.36%)
- 8位 兵庫県高砂市 42人 (1.14%)
- 9位 兵庫県多可町 42人 (1.14%)
- 10位 兵庫県加東市 38人 (1.03%)
- その他 279人 (7.57%)

現状として、播但連絡道路等の交通網が整備されているが、観光資源等の不足により、隣接地域への「通過点」となっているのが現状である。一方で、周辺自治体（姫路市・福崎町等）との人流は非常に活発である。通勤・通学者や来訪者を地域内消費に結びつけられていない。